



Project Based Learning

Exhibition 2013

会期

2014年4月3日(木) - 7日(月)

平日 9:00 - 20:30

土曜 9:00 - 17:00

(日曜休館 / 最終日は17時まで)

主催

多摩美術大学 PBL 委員会

〒192-0394 東京都八王子市鎌水 2-1723

tel 042-676-8611 fax 042-676-2935

会場

多摩美術大学八王子キャンパス
図書館アーケードギャラリー

JR 横浜線・京王相模原線 橋本駅北口
神奈川中央交通バス「多摩美術大学行」
JR 八王子駅南口
京王バス「急行多摩美術大学行」

協力

ARTSAT Project / 株式会社 GK ダイナミックス
株式会社竹尾 / 株式会社ワイズギア

世界紙文化遺産支援財団紙守 / 東京大学

日本赤十字社東京都赤十字血液センター

八王子織物工業組合 / (アルファベット・五十音順)



GK Dynamics



what's PBL?

多摩美術大学では、2006年度からプロジェクトに参加しながら学ぶ実践型・参加型のデザイン教育として、PBL (project・based・learning) 科目を開講しています。この「PBL 科目」は、文部科学省の支援プログラムに採択されたプロジェクトや、地域社会・企業との共同プロジェクトがもたらす「教育力」を正規のカリキュラムに導入しています。学生に生きた知恵やデザインを学ばせるとともに、現場に学ぶ視点を育み、学科の専門領域を超えたコラボレーションによる実践的な問題点の発見・解決能力など、学生の総合的人間力を養成することを目的としています。



和紙、漉きの研究講座

手漉き和紙を漉く技術をまぎ習得し、様々な素材の混合による新しい和紙作りの研究。多摩美術大学に紙工房が完成しました。紙本来の素材が失われつつある現代、伝統的に手漉き和紙を大学の講座で実践する。楮、三稜、竹の大学内における植栽から始まり、伝統を踏まえた新しい大学独自の紙作りを模索することを目的とし、実のある答えを出したい。



NEXT 八王子織物プロジェクト

八王子織物工業組合の、建築、売り場のインテリアプラン、商品販売方法、商品、展覧会の構成、建築、アート、デザインの垣根無く、すべてをトータルで提案する授業。廃棄された、ネクタイのはぎれと紋紙を活用したテキスタイルプロダクトのデザイン製作。地球環境とこれからのデザインについて考える。



五感を刺激するワークショップ実践

五感に働きかけるワークショップの組み立てに学生が積極的に参画することで、企画・プレゼンテーション・コミュニケーション能力を鍛える。今年度は相模原養護学校橋本分教室の生徒を対象とし、生徒達と交流しつつ、実際にワークショップを企画・実践した。



iTamabi: 衛星アプリで宇宙とつながろう!

クリエイティブ・コーディングのためのツールキット「OpenFrameworks」を使って、アニメーションやサウンドを活用したiPhone/iPadアプリの制作手法を学ぶ。衛星芸術プロジェクトが開発したARTSAT APIを用いて、衛星の状態に応じて変化したり、衛星からのデータとユーザーや地上のデータを結びつける、宇宙とつながる衛星アプリをデザインする。



文化演出の現在 I

展覧会の構造を探ることにより、現代における展覧会の意味と様々な展覧会の未来について考察し、実際に自分達の展覧会を企画し実施していく。開催までの実務、略歴、キャプションの形式、設置の方法、チラシ版下の作成、レセプションの構成等について学ぶ。



パッケージデザイン基礎

前期では、包む・保護する・運ぶ・魅せるなどのパッケージデザインの基本をケーススタディを通し理解した上で、それらをテーマにした演習、課題製作を行う。後期は、前期に学んだ基礎を基に、ギフトパッケージをテーマにした課題製作を行い、パッケージデザインに対する発想力・構成力・表現力の向上を目指す。



バナナ・テキスタイル入門—素材研究 I

バナナ・テキスタイル・プロジェクトを理解するための基本講座。バナナ繊維を中心に未利用繊維の素材開発の方法について素材に触れながら学ぶ。実習と専門家によるレクチャーを通して環境問題とデザインに関する考えを深めていく。原料素材とその背景、文化・環境の関係についてバナナ繊維を通してみていく。



Project Based Learning



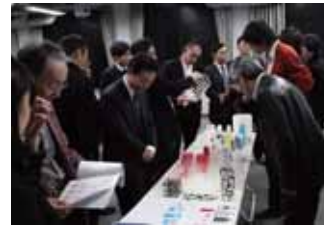
iTamabi: iTunes U/iBooks コンテンツ開発

Apple から配布されている iBook Author を用いて、多摩美から世界に向けて電子書籍を発信していくことを目指す。マルチタッチのタブレット端末の性能を活用したコンテンツやインターフェイスのデザインを通じて、これからのオンライン・パブリッシング、オンライン・ラーニングのあり方について、体験的に学ぶ。



プレゼンテーション演習

様々な公募展、助成団体へ応募する為には、ポートフォリオ等のプレゼンテーション資料の作成が必須となっている。受け手に正確に情報を伝える為には、自分がなにをどのようにプレゼンテーションしているかを自覚する必要があるだろう。プレゼンテーション資料の作成を通じて、作品とは違う方法で自分を表現することについて考察する。



YAMAHA 商品開発プロジェクト

「ヒトとバイクの出会いづくり」をテーマとして、若い世代のライフスタイルにオートバイをつなげるツールを提案、作成。(株)GK ダイナミックス、(株)ワイズギアとの産学共同によるプロジェクトで行い、実践的な活動が行われた。提案作品は2014 東京モーターサイクルショーのヤマハブース内で展示発表される。



バナナ・テキスタイル—紙からの造形

バナナ繊維及びその他の未利用繊維資源を利用して紙の材料をつくる。さらにその紙を利用して各自の専門領域の作品を構想し実現させる。未利用繊維による紙をどのように独自の制作に取り入れることができるかを考察し、造形の可能性を追求することを目標とする。



サステナブルデザイン入門編

持続可能な社会をデザインするための基礎知識を養う。環境に配慮した循環型の「デザインとは何か」、地球や社会のために「デザインに何ができるのか」を考えながら、学生の視点からリサーチ・ディスカッションを行い、デザインを提案する。またプロジェクトを通して受講生の積極的な行動力・コミュニケーション能力・デザイン力を高める。



ARTSAT : 芸術衛星の打ち上げに向けて

2014 年 2 月の芸術衛星 INVADER の打ち上げに向けて、ARTSAT や INVADER のことを多くの人に知ってもらうためのポスターやフライヤー、PVなどを制作する。衛星が打ち上がった後、衛星の電波を受信してくれたアマチュア無線家に贈るペリカードや、衛星データを用いて絵を描くドローイングマシンを制作した。



日常で命の意味を問うプロジェクト

～2013 年の課題～
社会における自らの存在意義への問いが、モノでも金でも名誉でもない文字通りのかけがえのない人道支援という行為に繋がっているといえるだろう。美術大学だからこそできる大切なことの一つとして、資本主義のゲームに乗らない人道支援というジャンル。これに対して、アーティスト・デザイナーとして、トコトン考え抜き、答えを出していきたい。